

佐賀県と九州森林管理局・佐賀森林管理署意見交換

～ 森林・林業の推進のため より一層の連携と情報共有 ～

9月28日、佐賀県庁において、県林務担当部局と九州森林管理局・佐賀森林管理署による意見交換会を開催しました。

佐賀県農林水産部からは、小山田林業課長、吉良森林整備課長のほか4名、九州森林管理局から川戸次長、一重企画調整課長、佐賀森林管理署から白石署長のほか2名が出席しました。

はじめに、主催者を代表して九州森林管理局 川戸次長から、森林・林業の現状を踏まえて、森林環境譲与税に係る課題や国有林をフィールドとした技術的支援等今後の取り組みを交えて挨拶がありました。

つづいて、佐賀県小山田課長、吉良課長から、県内の森林・林業の課題・施策の中で、木材価格の動向、林業担い手の育成、令和3年8月の豪雨災害の復旧状況、森林の整備、治山事業の推進状況等の取り組みを交えて挨拶がありました。

その後、三者によるそれぞれの取組等についての情報共有や①長方形植栽による下刈り作業の効率化のねらいや普及方法について、②本年度より佐賀県において開催している「さが林業アカデミー」を通しての林業就業者の人材育成の取組、③森林経営管理制度による意向調査の実施状況や各市町における事業化の事例紹介、④次世代スギ精英樹として期待が寄せられている「サガンスギ」の生産体制整備等について活発な意見交換が行われました。

おわりに、白石署長から、「本日の意見交換会を契機として、森林・林業の施策を推進するため、より一層連携して諸課題に取り組んでいきたい。」と挨拶を述べ意見交換会を終了しました。



佐賀県 吉良 森林整備課長



佐賀県 小山田 林業課長



九州森林管理局 川戸 次長



佐賀森林管理署 白石 署長